

産科

1. スタッフ（2019年4月1日現在）

科 長（教 授）松原 茂樹
 副 科 長（教 授）藤原 寛行
 外来医長（教 授）大口 昭英
 病棟医長（准教授）薄井 里英
 医 員（准教授）高橋 宏典
 （講 師）馬場 洋介
 （講 師）鈴木 寛正
 助 教 永山 志穂
 病院助教 永島 友美
 平嶋 洋斗
 内田真一郎
 浅野 歩未
 堀江 健司
 大橋 麻衣
 大館 花子
 杉山 瑞穂
 佐野 美穂
 横山 美樹
 シニアレジデント 19名

2. 診療科の特徴

総合周産期母子医療センターを併設し、合併症妊娠やハイリスク妊娠の管理、治療を多数手がけている。新生児が健康に発育できるよう、小児科と協力して診療を行っている。多胎妊娠、前置胎盤、妊娠高血圧症候群の症例が多く、これらを特に得意にしている。分娩数は年間約1000例、うち多胎は約100例で、全国大学病院の5本指のひとつに数えられている。また、前置胎盤、癒着胎盤に対する新しい手術法を考案し、安全な手術ができるよう、常に心がけている。県内の周産期医療施設から救急車による産科救急母体搬送を多数受け入れている。

・施設認定

日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
 日本周産期新生児医学会専門医制度周産期（母体胎児）専門医基幹研修施設

・専門医

日本産科婦人科学会専門医 松原 茂樹 他 36名
 日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）指導医
 大口 昭英、高橋 宏典
 日本周産期新生児医学（母体・胎児）専門医
 松原 茂樹、大口 昭英、馬場 洋介、高橋 宏典
 鈴木 寛正、永山 志穂、小古山 学

日本超音波医学会専門医・指導医

高橋 佳代、高橋 宏典、馬場 洋介

日本麻酔科学会標榜医 松原 茂樹、藤原 寛行

3. 診療実績

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新患患者数	再来患者数	紹介率
842人	14,980人	97.6%

2) 入院患者数

病名	患者数
1. 分娩のための入院	664
2. 新生児	247
3. 多胎妊娠管理	98
4. 切迫早産	77
5. 流産、人工妊娠中絶	69
6. 他科疾患合併妊娠管理	66
7. 羊水検査	53
8. 前置胎盤、低置胎盤	47
9. 産褥異常	41
10. 妊娠高血圧症候群、HELLP	38
11. 胎児発育不全	26
12. 切迫流産	22
13. 妊娠悪阻	18
14. 前期破水	17
15. 頸管縫縮術	14
16. 子宮内胎児死亡（22週以降）	10
17. 卵巣腫瘍合併妊娠	9
18. 胎児機能不全、胎盤機能不全	6
19. 常位胎盤早期剥離	6
20. 羊水量の異常	4
21. 胎児形態異常	3
22. その他	26
合計	1561

3) 分娩件数と手術件数

分娩総数は948件、うち双胎は96件、品胎1件。
 帝王切開率は51%だった。

手術術式別件数

手術術式	件数
帝王切開術	486
流産手術	39
吸引分娩	44
子宮頸管縫縮術	28

帝王切開術の適応	件数
1. 既往帝切	139
2. 多胎	94
3. 前置胎盤（低置胎盤を含む）	45
4. 胎児機能不全	40
5. 分娩停止	37
6. 子宮筋腫、既往子宮手術	32
7. 胎位異常	25
8. 妊娠高血圧症候群（HELLPも含む）	22
9. 児頭骨盤不均衡	11
10. FGR、胎盤機能不全	4
11. 常位胎盤早期剥離	4
12. 絨毛膜羊膜炎	3
13. その他*	30
合計	486

*母体合併症と胎児形態異常を含む。

4) 化学療法症例 なし

5) 放射線療法症例 なし

6) 悪性腫瘍の疾患別および臨床進行期別治療成績
なし

7) 死亡症例

母体死亡症例：0件

死産症例（妊娠22週以降）：9件

胎児形態異常：2件

臍帯過捻転：2件

臍帯脱出：1件

双胎：1件

常位胎盤早期剥離：1件

原因不明：2件

8) その他の治療症例 なし

9) 主な処置・検査

羊水染色体検査

胎児超音波検査スクリーニング

当院にて健診を受けている妊婦全員に対して、妊娠
18-22週、および28-30週の計2回実施している。

無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）

10) カンファランス

(1) 診療科内

入院中のすべての患者についての検討会が週1回
実施されている。

(2) 他科との合同カンファランス

新生児集中治療部、小児外科との合同カンファラ
ンスが週1回実施されている。

(3) 他職種との合同カンファランス

毎朝、病棟責任医師もしくは病棟医長を中心に医
師、助産師、看護師により、入院中のすべての患
者について1日の方針の確認がなされている。主
任教授が週2回同席している。

4. 分娩統計

詳細は総合周産期母子医療センター産科部門として報
告する。

5. 2019年の目標・事業計画等

1) 医師全員の超音波検査技術の向上を図る

2) 周産期専門医の育成